

講義名	障害者心理学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	藤本 次郎		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	52076

### 主題と概要

障害のある人々に適切な援助を提供するためには、対象者の心理・行動特性を正しく把握したうえで、その心理・行動特性に応じた援助技法を適用することが重要である。  
 本講義では、障害者の障害種別によって生じやすい心理・行動特性について理解すること、その心理・行動特性に配慮した科学的援助方法を習得すること、障害児・者の相談援助領域において、障害者心理学の知識を障害児・者援助に活用できるようになることを目指す。

### 到達目標

- ・ 障害の概念と心理学的援助の重要性が理解できる。
- ・ 障害種別による障害児・者の心理・行動特性の知識が習得できる。
- ・ 障害児・者の心理・行動特性に配慮した援助方法の知識が習得できる。
- ・ 障害児・者の相談援助領域における心理学的援助の実際を知ることができる。
- ・ 障害児・者援助に障害者心理学の知識を活用できる基礎能力が習得できる。

### 提出課題

- ・ 講義ごとにコメントシートの提出を求める。

### 評価の基準

- ・ 受講態度と講義ごとのコメントシートで30%、期末試験で70%の配分とする。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・ 臨床心理職に関心がある学生と、将来、社会福祉現場等で援助の仕事に就くことを目標にしている学生、特に障害児・者福祉領域の仕事に関心がある学生に受講を推奨する。
- ・ より理解を深めるため、ボランティア活動等を通じて障害児・者との交流経験をもつことを推奨する。

### 教科書

・使用しない。・

### プリント資料及び参考文献

- [プリント資料]  
 ・ 講義毎に資料を配布する。

- [参考文献]  
 ・ 藤野信行編「新版障害者心理学」建帛社  
 ・ 梶地勝人他編「障害特性の理解と発達援助 第2版」ナカニシヤ出版  
 ・ 田中新正・古賀精児編「新訂障害児・障害者心理学特論」放送大学教育振興会

### 授業計画

- 障害者心理学の目標  
 障害者心理学の対象  
 知的障害児・者の理解  
 知的障害児・者の援助  
 自閉症スペクトラム障害児・者の理解  
 自閉症スペクトラム障害児・者の援助  
 発達障害児・者の理解  
 発達障害児・者の援助  
 肢体不自由児・者の理解と援助  
 重症心身障害児の理解と援助  
 視覚障害児・者の理解と援助  
 聴覚障害児・者の理解と援助  
 中途障害者の理解と援助  
 精神障害者の理解と援助  
 その他の障害者の理解と援助

### 予習・復習

予習：可能な限り、障害者施設等の見学や障害者対象のボランティア活動に参加し、障害者援助の現状を知るとともに障害者との交流を経験しておくこと。

復習：配布した資料を基に、それぞれも障害種別に特有の心理・行動特性と、それぞれの特性から生じる課題の改善に推奨される援助技法の基本的事項を整理し、理解を深めること。不明な点や疑問点がある場合は、次回の講義時に質問した

### 備考